

1～3月の交通死亡事故特徴

～ 過去5年間（R2～R6）の死亡事故データから見る ～

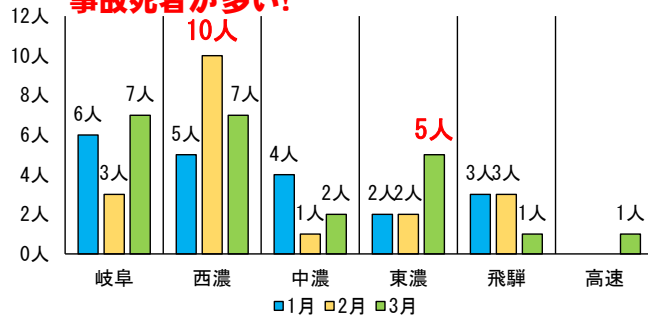
1～3月の死者数は、四半期で比較すると年間で最も少ないが、1、2月は夜間の事故が6割以上を占め、3月は昼間の事故が約6割を占めている。早朝から朝の通勤時間帯での事故が多いほか、3月は4時～12時の事故が多い。国道での事故が1月から3月にかけて増加しており、市町村道での事故は3か月とも多い。また、信号の無い交差点での事故や単路での事故が多い。

《1月》死者20人 市町村道での事故、信号の無い交差点での事故、一時不停止など交差点関連違反による事故が多い。

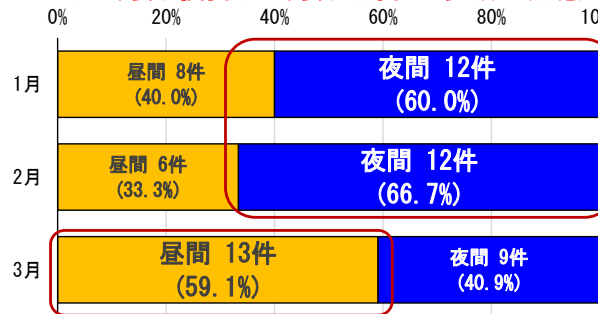
《2月》死者19人 夜間の事故が約7割と多い。時間帯では4時～8時に事故が集中している。西濃ブロックでの事故死者が多い。

《3月》死者23人 昼間の事故が約6割と多い。時間帯では4時～12時に事故が集中しているほか、車両単独事故が多く、漫然運転による事故が多い。

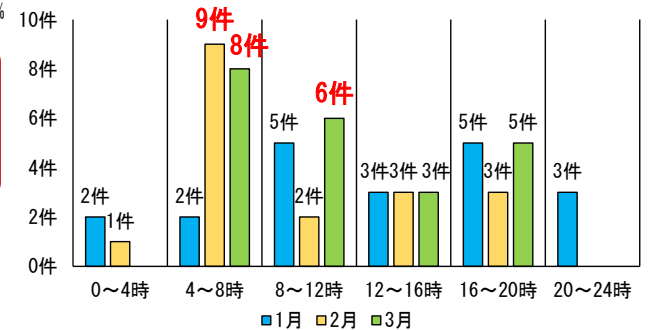
2月は西濃ブロック、3月は東濃ブロックで事故死者が多い!



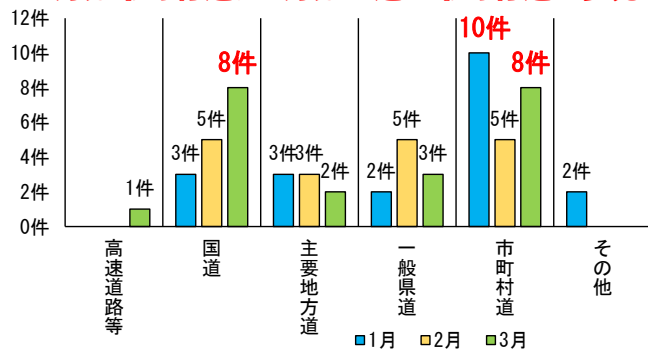
1、2月は夜間、3月は昼間の事故に注意!



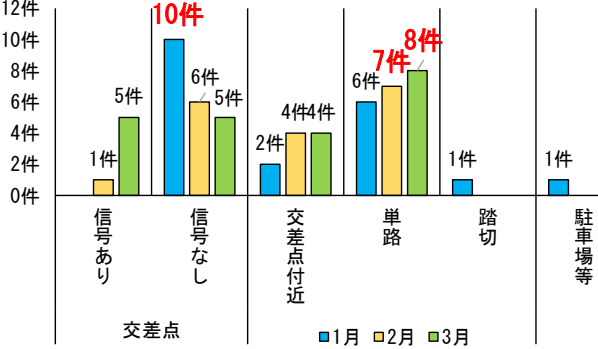
2月は4～8時、3月は4～12時に事故が集中!



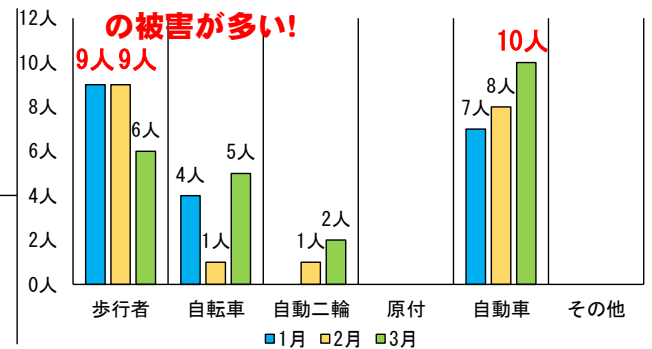
1月は市町村道、3月は国道・市町村道で多発!



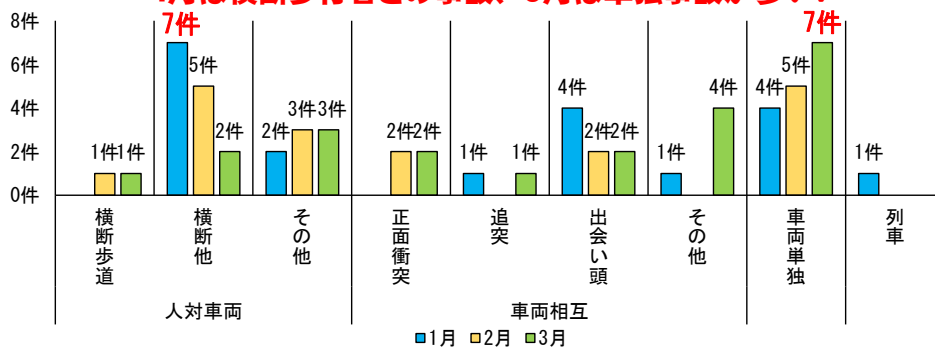
1月は信号の無い交差点での事故が多い!



1、2月は歩行者、3月は自動車乗車中の被害が多い!



1月は横断歩行者との事故、3月は単独事故が多い!



1月は交差点関連違反、3月は漫然運転による事故が多い!

